

農山漁村地域整備計画

令和4年4月公表

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----------|--|---------------|------|-----------|------|--------------|------|---------------|------|--------------|------|-----------------|---------|
| <p>計画の名称</p> <p style="text-align: center;">沖縄県漁港漁村地域整備計画</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>計画策定主体</p> <p>沖縄県</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>対象市町村</p> <p style="text-align: center;">8市町村（国頭村、今帰仁村、恩納村、伊是名村、読谷村、北谷町、南城市、竹富町）</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>計画の期間</p> <p>令和4年度～令和8年度（5年間）</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>計画の目標</p> <p>1. 地域の現状 沖縄県は亜熱帯地域に属し、少産多種の水産資源、台風の常襲、高温多湿などの特性を有しているほか、干満差が大きい海域にあり、厳しい就労環境での作業を強いられている。また、県内各地域に設置されたパヤオ（浮魚礁）を利用した漁業やマグロ延縄漁業及び旗流し漁法の導入によるソデイカ漁業が中心となっている。</p> <p>2. 抱えている課題 漁船の大型化や登録漁船の増加に伴う航路・泊地水深の不足や係留施設の不足が課題となっている。 亜熱帯地域による台風の常襲、高温多湿、干満差の大きい海域など厳しい就労環境での作業を強いられており、これら特性に適合した安全かつ安定的な漁業活動の確保が課題となっている。 離島における漁港においては、生活物資等の搬入を担う重要拠点として、一般港湾の性格も併せもち、就航率、運航の円滑化・効率化を図り、定期船等が通年を通して安心して利用出来る環境の構築を求められている。 大規模な自然災害に基因するリスクから県民の生命と財産を守るため、国が進める国土強靱化、防災・減災の取組を踏まえ、漁港海岸の高潮対策が求められている。</p> <p>3. 取り組むべき対策 亜熱帯特性等を生かした持続可能な農林水産業の振興を図るため、亜熱帯・島しょ性の地域特性に適合する水産生産基盤の整備を推進するとともに、離島航路の就航率改善等の整備に取り組み、魅力と活力ある漁村地域の振興を推進する。</p> <p>4. それによって達成しようとする目標 漁村の魅力と所得の向上、地域が有する多面的機能の維持・発揮による農山漁村地域の活性化促進、持続可能な漁業生産の確保を目標とする。</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>定量的指標</p> <p>上記の計画の目標に対する定量的指標は以下のとおりとする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2">機能高度化漁港数</td> </tr> <tr> <td>・岸壁・物揚場の耐震化整備</td> <td style="text-align: right;">2 漁港</td> </tr> <tr> <td>・安全係船岸の整備</td> <td style="text-align: right;">2 漁港</td> </tr> <tr> <td>・衛生管理対策施設の整備</td> <td style="text-align: right;">2 漁港</td> </tr> <tr> <td>・就労環境改善に資する整備</td> <td style="text-align: right;">4 漁港</td> </tr> <tr> <td>・船揚場の先端改良の整備</td> <td style="text-align: right;">3 漁港</td> </tr> <tr> <td>海岸背後地区の浸水被害防護面積</td> <td style="text-align: right;">5.61 ha</td> </tr> </table> | 機能高度化漁港数 | | ・岸壁・物揚場の耐震化整備 | 2 漁港 | ・安全係船岸の整備 | 2 漁港 | ・衛生管理対策施設の整備 | 2 漁港 | ・就労環境改善に資する整備 | 4 漁港 | ・船揚場の先端改良の整備 | 3 漁港 | 海岸背後地区の浸水被害防護面積 | 5.61 ha |
| 機能高度化漁港数 | | | | | | | | | | | | | | |
| ・岸壁・物揚場の耐震化整備 | 2 漁港 | | | | | | | | | | | | | |
| ・安全係船岸の整備 | 2 漁港 | | | | | | | | | | | | | |
| ・衛生管理対策施設の整備 | 2 漁港 | | | | | | | | | | | | | |
| ・就労環境改善に資する整備 | 4 漁港 | | | | | | | | | | | | | |
| ・船揚場の先端改良の整備 | 3 漁港 | | | | | | | | | | | | | |
| 海岸背後地区の浸水被害防護面積 | 5.61 ha | | | | | | | | | | | | | |
| <p>対象事業</p> <p>別添一覧表参照</p> | | | | | | | | | | | | | | |

単位：千円

| 事業名 | 地区名 | 事業 主体名 | 工期 | 総事業費 | うち整備計画 期間内総事業費 | 主な事業内容等 |
|----------------------|-----|-----------|----------|------------------|-------------------|------------|
| 地域水産物供給基盤整備事業 | | | | 5,918,965 | 2,531,919 | |
| | 恩納 | 恩納村 | H27 ~ R5 | 1,647,762 | 323,927 | 漁港施設整備一式 |
| | 伊是名 | 沖縄県 | H28 ~ R7 | 2,471,203 | 935,992 | 漁港施設整備一式 |
| | 辺土名 | 沖縄県 | R1 ~ R9 | 1,800,000 | 1,272,000 | 漁港施設整備一式 |
| | | 沖縄県 | R4 | 1,988 | 1,988 | 市町村事業推進費 |
| 漁港漁村環境整備事業 | | | | 2,504,474 | 1,561,180 | |
| (漁村再生交付金) | 都屋 | 沖縄県 | R2 ~ R6 | 354,200 | 230,200 | 漁港施設整備一式 |
| (漁村再生交付金) | 波照間 | 沖縄県 | R3 ~ R7 | 480,700 | 452,700 | 漁港施設整備一式 |
| (漁村再生交付金) | 今帰仁 | 今帰仁村 | H27 ~ R4 | 842,000 | 66,000 | 漁港施設整備一式 |
| (漁村再生交付金) | 南城Ⅲ | 南城市 | R3 ~ R6 | 527,574 | 512,280 | 漁港施設整備一式 |
| (漁村再生交付金) | 浜川 | 北谷町 | R4 ~ R6 | 300,000 | 300,000 | 漁港施設整備一式 |
| | | 沖縄県 | R4 | 3,616 | 3,616 | 市町村事業推進費 |
| 海岸保全施設整備事業 | | | | 1,718,858 | 275,627 | |
| (高潮対策) | 伊是名 | 伊是名村 | H24 ~ R5 | 1,718,858 | 275,627 | 海岸保全施設整備一式 |
| | | 沖縄県 | R4 | 2,044 | 2,044 | 市町村事業推進費 |

沖繩県漁港漁村地域整備計画位置図

今帰仁地区 漁港漁村環境整備事業
(漁村再生交付金)

恩納地区 地域水産物供給基盤整備事業

都屋地区 漁港漁村環境整備事業
(漁村再生交付金)

浜川地区 漁港漁村環境整備事業
(漁村再生交付金)

伊是名地区 地域水産物供給基盤整備事業

伊是名地区 海岸保全施設整備事業 (高潮対策)

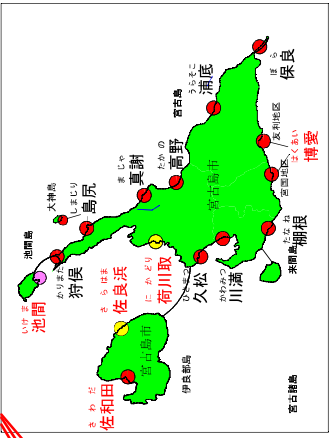
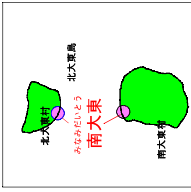
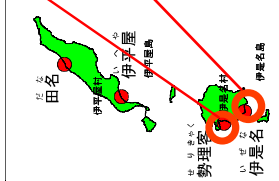
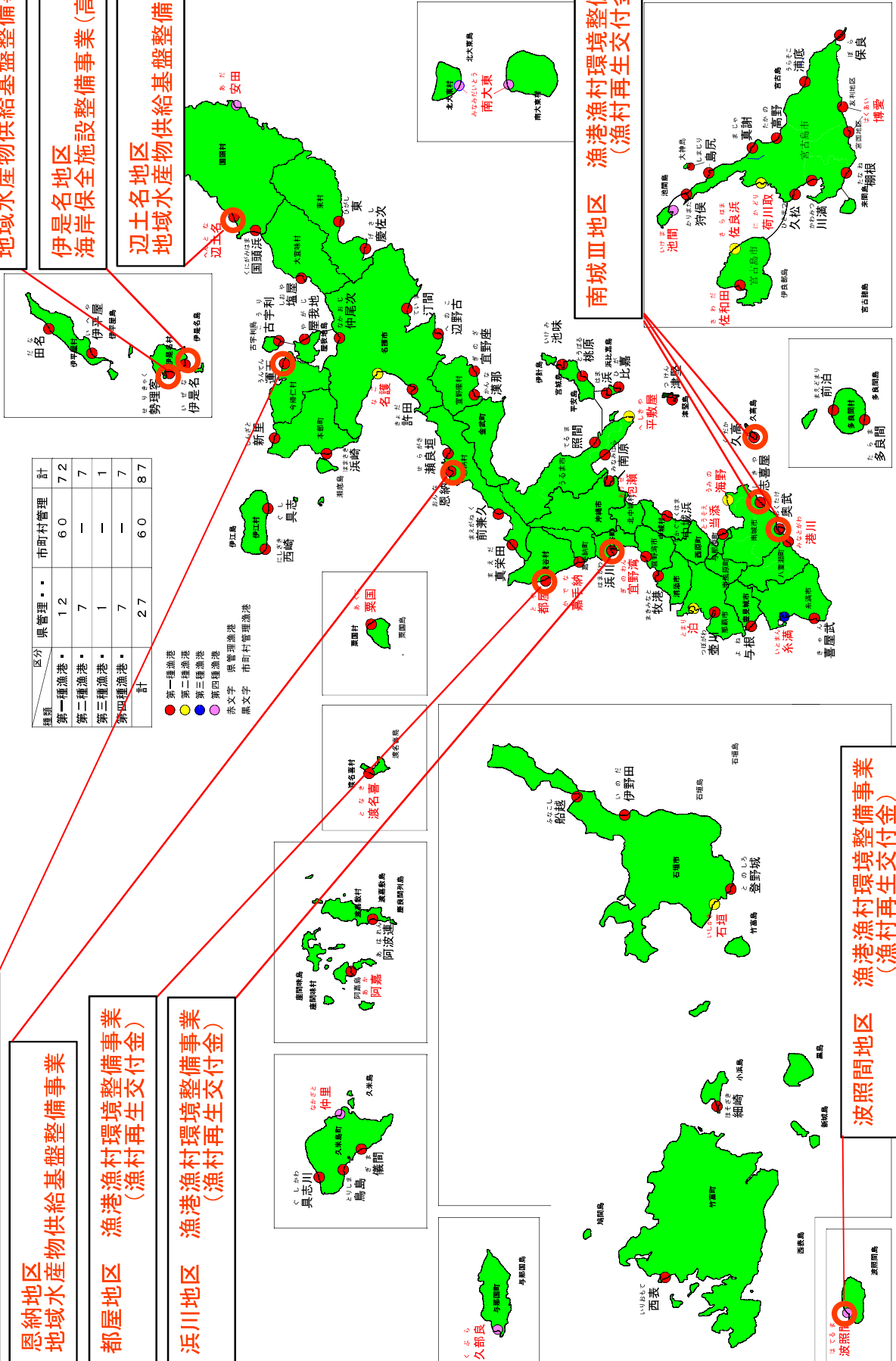
辺土名地区 地域水産物供給基盤整備事業

南城Ⅱ地区 漁港漁村環境整備事業
(漁村再生交付金)

波照間地区 漁港漁村環境整備事業
(漁村再生交付金)

| 種別 | 区分 | 果管理 | 市町村管理 | 計 |
|-------|-------|-----|-------|----|
| 第一種漁港 | 第一種漁港 | 12 | 60 | 72 |
| | 第二種漁港 | 7 | - | 7 |
| | 第三種漁港 | 1 | - | 1 |
| | 第四種漁港 | 7 | - | 7 |
| 計 | | 27 | 60 | 87 |

- 第一種漁港
- 第二種漁港
- 第三種漁港
- 第四種漁港
- 赤文字 果管理漁港
- 黒文字 市町村管理漁港



農山漁村地域整備計画 事前評価調査

| | | | |
|----------|---|--------|---|
| 計画の名称 | 沖縄県漁港漁村地域整備計画 | | |
| 計画策定主体 | 沖縄県 | 対象市町村 | 8市町村（国頭村、今帰仁村、恩納村、伊是名村、読谷村、北谷町、南城市、竹富町） |
| 計画の期間 | 令和4年度～令和8年度（5年間） | | |
| 計画の目標 | <p>漁船の大型化や登録漁船の増加に伴う航路・泊地水深の不足や係留施設の不足が課題となっている。亜熱帯地域による台風の影響、高温多湿、干満差の大きい海域など厳しい就労環境での作業を強いられており、これら特性に適合した安全かつ安定的な漁業活動の確保が課題となっている。</p> <p>離島における漁港においては、生活物資等の搬入を担う重要拠点として、一般港湾の性格も併せもち、就航率、運航の円滑化・効率化を図り、定期船等が通年を通して安心して利用出来る環境の構築を求められている。</p> <p>大規模な自然災害に基因するリスクから県民の生命と財産を守るため、国が進める国土強靱化、防災・減災の取組を踏まえ、漁港海岸の高潮対策が求められている。</p> | | |
| 評価指標 | ①機能高度化漁港数 | | |
| | ・岸壁・物揚場の耐震化整備 | 2 | 漁港 |
| | ・安全係船岸の整備 | 2 | 漁港 |
| | ・衛生管理対策施設の整備 | 2 | 漁港 |
| | ・就労環境改善に資する整備 | 4 | 漁港 |
| | ・船揚場の先端改良の整備 | 3 | 漁港 |
| | ②海岸背後地区の浸水被害防護面積 | 5.61ha | |
| 対象及び関連事業 | 地域水産物供給基盤整備事業 | 3地区 | |
| | 漁港漁村環境整備事業（漁村再生交付金） | 5地区 | |
| | 海岸保全施設整備事業（高潮対策） | 1地区 | |
| | | | 合計 9地区 |

【評価内容】

| 評価項目 | 評価細目 | 項目別評価 |
|-----------------|---|---|
| (1) 目標の妥当性 | <p>①関連計画との整合性</p> <p>■A：重点施策との関連性が高い。 □B：関連計画との整合性がない。</p> <p>本計画の対象事業及び計画指標は、「沖縄21世紀ビジョン基本計画（沖縄振興計画）」の重要施策である「亜熱帯性気候等を活かした持続可能な農林水産業の振興」を具体化するものであり、高い関連性がある。</p> | <p>■A (すべてA)</p> <p>□B (上記以外)</p> |
| | <p>②地域課題に対する目標設定</p> <p>■A：地域課題に対する明確な目標が設定されている。 □B：地域課題が不明確、又は目標が不適当</p> <p>本県特有の課題である亜熱帯地域への適応や、漁船の大型化に対応する整備など適切な本県の有する課題に適切に対応している。</p> | <p>■A (すべてA)</p> <p>□B (上記以外)</p> |
| (2) 整備計画の効果・効率性 | <p>①目標と評価指標の整合性</p> <p>■A：評価指標は目標との関連性が高く、計画の効果が適切に評価可能である □B：評価指標について目標との関連性が低い、又は計画の効果が適切に評価できない</p> <p>評価指標は、整備計画の目標、対象事業と整合性が図られている。また、目標数値を明確にした定量的指標としており、中間評価、事後評価が実施可能で適切な指標となっている。</p> | <p>■A (すべてA)</p> <p>□B (上記以外)</p> |
| | <p>②対象事業の妥当性</p> <p>■A：すべての対象事業が目標達成のために効果的な事業である □B：対象事業が目標達成のための事業として不適切である</p> <p>本計画の対象事業は目標に対し必要な事業であり、一体的に整備することにより、効果的に目標達成を図ることが期待できる。また、事業効果の早期発現が強く求められており、緊急性も高い。</p> | <p>■A (すべてA)</p> <p>□B (上記以外)</p> |
| (3) 整備計画の実現可能性 | <p>①事業執行の環境</p> <p>■A：円滑な事業推進体制が整っている □B：事業推進体制が不十分である</p> <p>より自由度の高い交付金として創設された本交付金を活用し、地域のニーズに柔軟、効率的に対応するべく県、市町村関係団体等が一丸となって円滑な事業推進を図っている。</p> | <p>■A (すべてA)</p> <p>□B (上記以外)</p> |
| | <p>②地元の熟度</p> <p>■A：対象事業は地元の理解を得たものであり、実施要望が強い □B：対象事業について地元の理解が不十分である</p> <p>対象事業地区は、各市町村や漁業協同組合等からの実施要望のもと、地域での合意形成のプロセスを経た上で、事業導入が図られており、地元の気運も高く、着実な事業実施が期待されている。</p> | <p>■A (すべてA)</p> <p>□B (上記以外)</p> |
| 総合評価 | <p>■A：計画の妥当性が高い（すべて「A」の場合） □B：計画の見直しが必要（1項目でも「B」の場合）</p> | |
| | <p>検証の結果、目標の妥当性、整備計画の効果・効率性、整備計画の実現可能性のいずれについてもA評価であり、計画の妥当性が高いと評価される。</p> | |